



Congratulations!!

- ◎ 北洋銀行・北海道放送
 第48回中学生作文コンクール
 入選 中1-1 上鹿渡 凜乃さん
- ◎ 第59回全国高等学校生徒英作文コンテスト
 1年の部 入選 高1-G 中村 友香さん
 高1-G 福本 あめりさん
- ◎ 北星学園大学国際教育センター主催
 English Camp in 北星 Online 2020
 英語プレゼンテーション(動画)コンテスト
 English Language Prize
 チーム Quarted
 高1-G 福本 あめりさん
 高1-G 夕田 桜子さん
 高1-G 大橋 茉莉乃さん
 高1-G 川田 澄果さん
- ◎ 第73回札幌市中体連スキー選手権大会
 アルペン：女子大回転
 総合8位 中1-1 石水 香梅さん
- ◎ 2021年ぬかびら源泉郷ユースSL/GS大会
 (兼：中体連スキー全国大会道代表選考会)
 女子回転 総合29位 / 女子大回転 総合36位
 中1-1 石水 香梅さん
 女子大回転
 総合9位 中1-1 石丸 り子さん
 (全国大会出場権獲得！)
- ◎ 第3回 持続可能な世界・北海道
 高校生コンテスト
 優秀賞 「性の十人十色」
 高3-G 伊藤 初音さん
 高3-G 西村 和歌子さん
 高3-S 西村 萌さん
- ◎ JICA 国際協力中学生・高校生
 エッセイコンテスト2020
 佳作 高3-S 豊嶋 紅安さん
- ◎ 2020年度北方領土中学生作文コンテスト
 佳作 中1-1 都筑 暖和さん

ご卒業を迎える高校3年生と保護者の皆様にお祝いを申し上げます。新生活に臨むにあたって必要な準備をしっかりと、それぞれの場所で輝くことができますよう、教職員一同お祈りしております。

2月の予定



	行事	お弁当
1(月)	高3卒業週間(~2/5) 中2三者面談(~2/12)	要
2(火)	高3祈りの日 放送朝礼 母の会聖書サークル(10:30~, Sr.田口)	要
3(水)	高3卒業研究代表者発表会(6校時) 課題研究ミーティング⑥(オンライン)	要
4(木)	高3送別会(1校時) 寄宿送別会	※1
5(金)	ピアサポートワークショップ(16:20~)	要
6(土)	高校卒業式 中1~高2 家庭学習	不要
7(日)		
8(月)	高1NY国連研修(~2/10, オンライン) 共通テスト模試①(放課後、高2希望者のみ)	要
9(火)	放送朝礼 高1 UNHCR講話(5~6校時) 共通テスト模試②(放課後、高2希望者のみ)	要
10(水)		要
11(木)	建国記念の日	
12(金)	高1・高2 進研模試	要
13(土)	高1・高2 小論文講習⑦(3校時)	※2
14(日)		
15(月)	スキーデー(ばんけい) 高1-G Niseko English Camp(~2/20)	※2
16(火)	生徒家庭学習 高校一般入試(A日程) 共通テスト模試③(高2希望者のみ)	
17(水)		要
18(木)		要
19(金)	中3卒業研究発表会	要
20(土)	新中学1年生オリエンテーション(13:30~)	※2
21(日)	四旬節 第一主日 英検二次③	
22(月)		要
23(火)	天皇誕生日	
24(水)		要
25(木)		要
26(金)	ピアサポートワークショップ(16:20~)	要
27(土)	高1・高2 小論文講習⑧(3校時)	※2
28(日)		

※1 高3はお弁当不要です。

※2 必要な方は昼食をご用意ください。

梅干し弁当募金

1月27日(水)の梅干し弁当募金では、**総額45,844円**を寄付していただきました。パキスタンの医療・水源確保の支援のため、ペシャワール会にお送りします。ご協力ありがとうございました。

中1 修養会・高1 SADE・高2 見学旅行

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期になっていた中1 修養会・高1 SADE・高2 見学旅行を実施しました。感染予防対策を十分に講じつつ、実り多い研修にすることができました。緊急事態宣言のため、中3の修学旅行はやむを得ず中止になってしまいましたが、可能な範囲で別の行事を企画中です。



今月の聖句

光は闇の中に輝いている。
そして、闇はこれに勝たなかった。

ヨハネによる福音書 1章 5節



1月20日、第46代アメリカ大統領就任式では、高1 国連研修生が毎年お世話になるニューヨークの聖心の卒業生が歌う国歌に心を打たれました。そして、“The Hill We Climb”という自作の詩を読み上げた22歳のアフリカ系アメリカ人女性アマンダ・ゴーマンさんに、大きな希望を与えられました。

「この果てしない暗闇のどこに光が見出せるだろうか」という言葉から始まる詩の最後は、「光はいつももある。もし私たちに光を観る勇気さえあれば。もし私たちが光となる勇気さえあれば。(試訳)」と結ばれています。

思い浮かぶのは、昨年のクリスマス、高校3年生が、“O Come Emmanuel”「人と共に在る神よ、来てください」の曲と共にろうそくを掲げて行列した姿です。

やんちゃでいたずら好きで、でも深く考えることもできて、てきぱきと有能に何でも取り組む53回生は、パンデミックの中で最上級生となった不運を嘆くこともありませんでした。

前向きに考えて、「当たり前前の方が当たり前でなくなったが、だからこそ、感謝の心が生まれた。」「コロナのためにできなかったことも多いが、ゆっくりと振り返り、祈ることが出来た。」「行事を中止するのではなく、新しい形を考え出そう」と希望を与えてくれました。

それは闇の中に灯ったあかりのように、私たちに元気づけてくれました。

光は闇の中に輝いています。特別な年の最上級生の巣立ちには特に寂しく感じられますが、灯を掲げてパンデミックの闇の中を歩む姿を想い、一人ひとりにどうぞ勇気を与えてくださいと祈ります。

[チャプレン Sr.田口保子]

生徒指導部より (パーカーの着用について)

学校指定パーカーは、ジャケットの上に着るのが基本です。校内ではジャケットの中に着てもよいですが、その際はジャケットのボタンを必ず閉め、だらしないようにしてください。また、校外では必ずジャケットの上に着るようにしてください。

なお、部活動で使用するジャージ等は、放課後の部活動の時間のみ着用可能です。登下校中・授業中の着用は許可していませんので、注意してください。